

玉水駅のなぞ新聞

水害の歴史を語り継ぐ駅

京都府井手町の玉水駅には駅の構内に大きな石があります。石としてここに置かれたあった記念ひをばったんて調べてみました。

玉水の巨石とよばれる石

この石の大きさはほぼ一・八m、高さ一・二m、重さは約六トン。石のそばにある記念ひによると、昭和二十八年の南山城大水害で



発行 2017.7.28 藤村侑志
(近畿大学附属小)
5年

南山城大水害とは...



被災した玉水地区

昭和二十八年八月二十五日午前一時から五時までに京都南部地方に一時間に百ミリ(一時間で達)の十センチ水につかる)のはげしい雨が降った。

この雨と土石流で、この地では死者・行方不明三三六名、被災した家五七七六戸の被害が出ました。ちなみにこの時の土石流の量は

十トントラッパ
三十万トン分
だったという
です。

水害の歴史遺産の
存続は...

現在玉水駅改修工事が行われていて、駅に階段もつけるため、この巨石を他へ移動させるか、破かいするか検討中だけれど、破かいする。確かに大きすぎて、いかにもかもしれないけど、破かいなんてとんでもない。ほくは「災害はくり返しおこる」ということをみんないつも考えておくべきだと思ひます。るのためにもここまでの巨石が流された災害のこわさを後世に伝えるように、みんなが利用する身近な玉水駅に、この巨石を長く保存展示してほしいと思ひます。

